

8月報告書

常陸太田市 地域おこし協力隊
梨栽培の担い手 石原 恭

行った主な活動

農産物直売所への出荷

早朝に収穫した梨を袋詰めし、朝のうちに市内の各直売所へ配送して出荷した。新鮮さを保つことを第一に考え、収穫から出荷までの流れをできるだけスムーズに進めるよう心掛けた。直売所では、他の農家の方々が出荷している野菜や果物を見る機会もあり、袋詰めの方法や陳列方法などを学ぶ良い機会になった。



梨の発送業務

電話での注文や直売所で直接いただいた発送注文に対応し、サイズや個数を確認しながら箱詰めを行った。一つひとつの果実の状態を見極め、傷や擦れがないかを丁寧に確認するとともに、送り先や内容を間違えないよう、伝票の記入や確認作業も慎重にした。作業を通して、消費者の方に梨が届くまでの流れを実際に経験でき、直売とはまた違った販売の形を学ぶことができた。



活動を行った感想など

出荷作業は早朝の短時間に多くの工程をこなす必要があり、事前の準備や段取りの重要性を改めて感じた。

梨の状態を見ながら作業する中で、自分の判断で良し悪しを見極める経験を積むことができ、今後の栽培や販売に活かせると感じた。

今後の目標など

9月で収穫販売の折り返しを迎えるので、引き続き体調管理や暑さ対策に気を配りながら作業を進めていきたい。

また、これからは様々な品種に触れる機会が増えるため、果実の色の付き方などを品種ごとに少しずつ異なる判断材料を注意深く観察しながら、収穫する梨とまだ収穫を待つ梨を判断できるように勉強し、その違いを理解して自分の見極め力を高めていきたい。

